

静岡県議会議員選挙公報

平成31年4月7日執行 ◆静岡県駿河区選挙区◆ 静岡県選挙管理委員会

あなたのためにまっしぐら!! 駿河に新風をまきおこす 3つの挑戦。



① すべての子どもに教育の機会を

ひとり親家庭を支援、夜間中学校を開設、ひきこもりの子や発達障がい児への支援、特別支援学級の拡充、私学助成や奨学金制度の充実を目指します。

② 防災・減災で安心・安全のまちづくり

災害時に要援護者を守るための対策、防災資機材の整備、自主防災組織の活性化、防災リーダーのネットワークづくり、災害情報の伝達機能の強化を目指します。

③ 身を切る改革の推進

政務活動費の疑念を持たれない使い方の推進、そして削減を目指し、“ごまかし”や“不正”は絶対に許しません。

公明党のネットワークの要として
全力で走り抜きます!

牧野まさし プロフィール

市立豊田中学校卒、県立静岡東高等学校卒、京都産業大学法学部卒。エスエスケイフーズ㈱入社。平成30年10月退職。党県青年局長。妻、長女、次女、長男の5人家族。小鹿在住。



ホームページ



ごあいさつ



公明党公認
まきの
牧野まさし
昭和47年生まれ
46歳

動かそう!! 静岡。県都八策 を提案します。

未来に投資する街の力を引き出す。
人材を育てて失わず、産業を興して集積し、
未来を創る確かな歩みを。
政治は批判することではなく、創造することだ。
目標を共有すれば、必ず実現することができます。

1 拠点を創る

- 東静岡に中央図書館と文化の拠点を整備。
- 大谷地区に食品産業の集積を。
- 駅南口は安全で統一された商業圏形成を。
- 安倍川駅前に区役所支所の整備を。
- 用宗漁港の市場性を高め、海水浴場の再生を。

2 家族を守る

- 子育て支援から家族支援へ。
- 公民館、公園の整備で地域に活力を。
- 交番の適正配置で防犯力を強化する。

3 富を増やす

- 再生医療、防犯・防災・発電完備住宅。成長可能な産業を集積する。
- 静岡駅への新幹線停車本数を増やす。

4 成長軌道に乗せる

- 農地集約と新圃場整備。
- 災害に強い一次産業を目指す。

5 命を守る

- 防潮堤整備で津波から命を守る。
- 豪雨、土砂崩落から街を守る。

6 高度で温かい教育を実現する

- 生徒と向き合う教育現場を。
- 大学をまちづくりの中心に置く。

7 議会を改革する

8 県市で連携する

《略歴》1973年生まれ、45歳。市立長田南小、城山中、県立静岡高から明治大学法学部卒。1999年25歳で静岡市議初当選。市議3期、県議2期。自民党静岡県連政調会長、青年局長、遊説部長など歴任。



自民党公認
あいさか
相坂せつじ
政策を提言する。実現する。

さち茂人が取り組む 4 県大テーマ!!

略 歴

- 昭和58年3月 静岡市立森下小学校卒
- 昭和61年3月 静岡市立高松中学校卒
- 平成元年3月 静岡県立静岡東高等学校卒
- 平成6年3月 私立上武大学商学部卒
- 平成11年4月～平成25年3月31日 (14年間)
静岡市議会議員 3期
- 平成25年6月～ 静岡県議会議員 2期 (6年)
- 家族構成：(父・妻・4男・4女11人家族)
- 経歴
- 静岡県議会
企画くらし環境委員会副委員長/家庭教育支援条例案検討委員会/人口減少対策特別委員会/厚生委員会 委員長/厚生問題対策連絡協議会 副委員長
- 静岡第九分団分団長
- 静岡市ソフトボール協会参与
- 太極拳普及協会 会長

静岡市の発展
|| 県都静岡づくり
|| 静岡県の発展へ

いつまでも元気で健康に住み慣れた地域で暮らせる
静岡県を目指します

時代の変化に柔軟な県政発展と人々が報われる経済成長

充実した子育て支援で豊かな社会をつくりまます

この静岡が好きです!!
徳のある・豊かで・
自立した地域づくりを!



自由民主党公認
さち茂人
(48歳)

静岡県議会議員選挙公報

◆静岡県駿河区選挙区◆ 静岡県選挙管理委員会
平成31年4月7日執行

新発想でつくろう。豊かな人口減少社会

日頃から地域内のツナガリが強い社会は、災害にも強い社会です。コミュニティスクール等による小中学校を拠点にした地域づくり、歩行者や自転車に優しいまちづくり等の推進により、子育てや介護等を近所や地域全体で支え合い、地域の課題は地域で解決する、いつも地域ににぎわいのある社会を実現すべきです！

近所・地域重点主義！

人口減少に伴う労働力不足にもかかわらず、十分に増えない賃金、増えるのは不安定な非正規雇用ばかりなど、働く環境は依然厳しい状況です。有期雇用の無期転換等の非正規社員の正社員化、高齢者や障がい者が働ける場の拡大、ワークライフバランスの推進等、働きたい人がやりがいを持って働ける環境を早急に実現すべきです！

働きたい人重点主義！

子どもや若者が減少しているにもかかわらず、七人に一人の子どもの貧困、繰り返される児童虐待やいじめ、若者の自死、学費負担の問題等、子どもや若者を巡る環境は決して良くありません。子どもや若者の生活の質の向上、教育環境充実等を指す政策を強力に推進し、そのための投資は最優先に惜しまず行なうべきです！

子ども・若者重点主義！

将来人口推計が示すように、少なくとも今後数十年間、静岡県や国の人口は減少し続けます。直視すべき現実です。だからこそ、人口が減少しても、持続可能で豊かな社会をつくるのが、子どもや若者、更に先の世代に対する私たち大人の責任です。



県議二期八年の実績
すずきさとし
ふじのくに防災士

略歴 ●静岡県駿河区生まれ ●英国ケント大学大学院修士課程修了 ●元国会議員政策担当秘書 ●静岡県議会危機管理くらし環境委員長

若者に希望を 28歳「ゆうき」の挑戦



再生可能エネルギーを普及します。
日本共産党躍進で、ウソのないまともな政治を

④ 浜岡原発は再稼働させず キッパリ廃炉

③ 国保料引き下げ 介護の負担軽減
安倍政権による国保料大幅値上げ計画は絶対許しません。公費1兆円増で協会けんぽ並に引き下げます。県の独自支援も充実させます。

② 若者の未来にもっと投資を 人口流出ストップ
○最賃アップを国に求めます。地元で雇用拡大。○県独自の給付型奨学金の創設。○若者・新婚世帯へ家賃補助。7位の財政力を生かして実現します。

① 『消費税10%増税、9条改憲』ストップ
私への一票で、増税推進の自民公明に選挙できびしい審判を下し、政権もろとも吹き飛ばしましょう。

安倍政権による住民の負担増、社会保障削減などの「地方こわし」にものをいう県議が駿河区に必要です。私、山口ゆうきはこれと対決して、暮らしを守ります。



日本共産党
山口ゆうき
(28歳)

略歴 1990年生まれ。28歳。日本福祉大学卒。党地区くらし・若者政策委員長。

安倍自公政権の「地方こわし」と対決。くらし守る県政に

立憲民主党 生活に希望を 静岡に元気を

県の福祉現場で20年以上働いてきた経験が私の財産

立憲民主党がめざす社会の姿

- 1 困った時はお互いさま、誰も置き去りにしない社会**
私たちは、一つの色に染め上げ、強いものがより強くなる社会から、本気で互いの多様性を認め合い、ひとりひとりが持ち味を発揮でき、困った時はお互いさまと言える社会を地域からめざします。
- 2 格差をなくし地域経済を元気にする社会**
格差が広がると経済は成長しないことはOECDやIMFの調査でも明らかです。地域から格差を是正することで、誰もがいつまでも安心して暮らせ、居場所と出番のある社会をつくることで地域から経済を発展させます。
- 3 原発ゼロで持続可能な社会**
国民の多くが望むのが原発ゼロです。地域でエネルギーをつくり、雇用を生み、地域経済を活性化し、環境を守る持続可能な社会をめざします。

プロフィール

- 1962年静岡市(駿河区)南町生まれ、富士見台在住、ずっと地元駿河区
- 静岡学園幼稚園、富士見小、高松中、静岡東高卒業(16期生)
- 元静岡県職員(中部民生事務所、こども家庭相談センター等に勤務)
- 富士見小学校PTA副会長(副会長9期目・現職)

原発に依存しない静岡の実現

- 巨大地震と原子力発電所は共存できない事を私たちは学びました。
- 太陽光・風力発電など再生可能エネルギーへのシフトにより、原発ゼロ社会をめざします。

命を守る、大切に静岡をつくらせます

- 巨大地震や台風、豪雨に備えた防災・減災力の強化
- 沿岸部住民の津波対策としての避難所(避難タワー)、避難道の確保
- 子どもの命を守るため、児童相談所、学校等へのクレーム対応などに向けた弁護士等の専門人材確保

次世代も安心できる静岡をつくらせます

- 学校トイレの洋式化推進、公園・河川敷トイレの改修による憩いの場の確保
- 地域と行政、警察等との連携強化で振り込め詐欺(特珠詐欺)を撲滅

日本平久能山スマートIC課題への対応

- 工業・物流施設を集積を図る計画ですが、IC周辺の交通問題・区画整理などの課題解決も図ります。



立憲民主党
すぎやま
杉山あつし
”地域の声を県政に”